

2020年度自己評価報告書

● 評価の方法

教職員に対して、各評価項目を「専修学校における学校評価ガイドライン」に準じて4段階で評価するとともに評価の根拠についても記述するアンケートを実施し、その評価点の平均値を算出して評価項目の評価点とした。また、各領域の評価点は、領域内の各評価項目の評価点の平均値とした。

● 評価点

4:適切 3:ほぼ適切 2:やや不適切 1:不適切

1. 教育理念・目的・人材育成像

評価項目	評価点	
1.学校の理念・目的・育成人材像は定められているか	3.8	3.55
2.学校の特色として挙げられるものはあるか	4.0	
3.学校の将来構想は策定されているか	3.0	
4.学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが、教職員、生徒及び保護者に伝わっているか	3.4	

【課題】

学生や保護者が、学校における教育目標及び教育方針を理解していない。学校の理念・目的・育成人材像は定められているが、明文化しきれていない。

【今後の改善方策】

入学後に保護者に向けて学校の様子を発信し、学校への理解を深めてもらう。学校の理念・目的・育成人材像については、ふさわしい言葉を選び明文化し、繰り返し学生に伝えていく

2. 学校運営

評価項目	評価点	
1.目的等に沿った運営方針が策定されているか	3.8	3.6
2.学校は事業計画に沿って運営されているか	3.6	
3.教育活動に関する情報公開が適切になされているか	3.8	
4.教務の意思決定システムは整備されているか	3.6	
5.情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3.2	

【課題】

業務分担がうまく活用されず、業務内容に個人負担差がある。業務内容がマニュアル化されていない。

【今後の改善方策】

Info クラウドシステムを有効的に活用し、情報を一元管理する。業務マニュアルを作成し、業務を分担化するとともに共有化する。

3. 教育活動

評価項目	評価点	
1.教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	3.8	3.53
2.教育理念・育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の就業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	3.4	
3.学科等のカリキュラムは目標達成に向け、体系的に編成されているか	3.8	
4.キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムが実施されているか	3.6	
5.授業をより良く改善するための授業評価を実施しているか	3.4	
6.成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	3.4	
7.資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	3.8	

8.職員の資質向上・指導力向上のための研修等が行われているか	2.8	
9.生徒一人一人の学習状況を把握し、適切な指導が行われているか	3.8	

**【課題】**

教育方針である「自らの感性を磨く」「自らを表現する力を高める」という教育指導が学生に響いていないことが課題である。また、授業評価を行っているが、学生や教員にフィードバックできていない。

**【今後の改善方策】**

プラクティカルスタディをできるだけ早く再開させ、学生にも学園全体の雰囲気を肌で感じ取ってもらいたい。授業評価について、正当な評価であれば、厳しい評価であっても授業評価の結果だけで教員を評価しないことを丁寧に説明し、できるだけ学生の意向を活かしていきたい

**4.教育成果**

評価項目	評価点	
1.就職率の向上が図られているか	3.8	3.45
2.資格取得率の向上が図られているか	3.8	
3.退学率の低減が図られているか	3.2	
4.卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3.0	

**【課題】**

志願者の多様性に伴い、学習意欲や学力の違いに差があり、対応しにくい。退学者の多くは実習に関係する学生が多い。年内に、就職先の方向性は学生に持たせたい。

**【今後の改善方策】**

単位修得が難しい学生への補講を個別に丁寧に行う。前期中に2年生に向けて保育園や幼稚園の先生に現場の話をしてもらい、後期早々に就職の授業を開始し、学生に自分の就職について考え、活動してもらいたい。

**5.学生支援**

評価項目	評価点	
1.進路・就職に関する支援体制は整備されているか	3.6	3.54
2.学生相談に関する体制は整備されているか	3.8	
3.定期的に健康診断を行うなど、学生への健康面への支援体制はあるか	3.8	
4.課外活動に対する支援体制は整備されているか	3.4	
5.納付金の分割納入等が学生の経済的側面に対する支援体制が整備されているか	3.8	
6.保護者と適切に連携しているか	3.2	
7.同窓会が組織され、活発に活動しているか	3.2	

**【課題】**

今年度はコロナの影響で課外活動が全くできなかった。学生が相談したい教員に偏りがあり、学生が相談したいタイミングを逃している。

**【今後の改善方策】**

地域のお祭りや児童館等での行事が開催されれば、積極的にに関わり、地域に根づいていきたい。主となる教員が不在であっても、他の教員とサポート体制をとる必要がある。

## 6.教育環境

評価項目	評価点	
1.施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	3.4	3.53
2.万一、災害が起きた場合に備えた保険などの措置はあるか	3.8	
3.防災に対する体制は整備されているか	3.4	

### 【課題】

学生下駄箱・実習室キャビネットが固定されていない。外階段が雨天時滑りやすく避難経路として危険である。

### 【今後の改善方策】

防災対策を再確認する。また、コロナ感染症対策として、非接触型水道を導入する。2階の女子トイレの扉を統一したい。

## 7.学生の受け入れ募集

評価項目	評価点	
1.高等学校等接続する機関に対する情報提供等の取組が行われているか	3.8	3.6
2.学生募集活動は、適正に行われているか	3.6	
3.学生募集活動において、資格取得・就職状況等の教育成果に関する情報は正確に伝えられているか	3.8	
4.学生納付金は、教育内容、学生及び保護者の負担などを勘案し、妥当なものとなっているか	3.2	

### 【課題】

現在、入学前に入学金 30 万円と施設費 20 万円の計 50 万円を支払ってもらっているが、支払うことができない受験生が多くなっている。

受験生が玉成保育専門学校のことを知らない

### 【今後の改善方策】

現在、入学前に入学金 30 万円と施設費 20 万円の計 50 万円を支払ってもらっているが、入学前には入学金 30 万円だけ支払ってもらうことに変更し、施設費 20 万円は入学後に授業料と一緒に支払いができるように変更したい。また、Instagram を活用し、学生や卒業生から学校の情報を発信してもらい、高校生に興味を持ってもらうようにする。

## 8.財務

評価項目	評価点	
1.中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	—	—
2.予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	—	
3.財務について会計監査が適正に行われているか	—	
4.財務情報公開の形式は整備はできているか	—	

### 【課題】

### 【今後の改善方策】

※財務に関しては、学園全体で評価のため、省略

## 9.法令等の遵守

評価項目	評価点	
1.法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	3.8	3.70
2.個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	3.8	

3.学校評価の実施と問題点の改善を行っているか	3.4	
4.教育情報を公開しているか	3.8	

**【課題】**

今年度は、コロナの影響で運営委員会を開催することができなかった。学校評価の結果を学生や関係者へ還元がされていない

**【今後の課題】**

運営委委員会をオンラインでも開催できるようにする。また、学校評価の結果を公表するだけでなく、評価の悪かった点について学校の指針をたて、公開していきたい

10.社会貢献・地域貢献

評価項目	評価点	
1.学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	3.25	3.25
2.学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	3.25	
3.地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか	3.25	

**【課題】**

コロナの影響で今年度は実施することができなかったが、学生にはボランティアのバイトなど積極的に参加するように促している

**【今後の課題】**

コロナ感染症対策を充分に行い、地域の行事にも積極的に参加できるように学校で情報を収集し、学生にアナウンスできるようにする